

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2010-64284(P2010-64284A)

【公開日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2008-230348(P2008-230348)

【国際特許分類】

B 2 9 C 41/24 (2006.01)

H 0 1 L 21/8246 (2006.01)

H 0 1 L 27/105 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

C 0 8 J 7/00 (2006.01)

B 2 9 K 27/12 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 41/24

H 0 1 L 27/10 4 4 4 C

C 0 8 J 5/18 C E W

C 0 8 J 7/00 3 0 2

B 2 9 K 27:12

B 2 9 L 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月2日(2011.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の工程を含む強誘電性キャストフィルムの製造方法。

(I) ポリフッ化ビニリデンを誘電率3～100の溶媒に溶解した溶液を、該溶液のゲル化温度よりも高く、且つ、前記ゲル化温度+60以下での温度でキャスティングすることにより、未延伸のキャストフィルムを製造する工程。

(II) 前記未延伸のキャストフィルムに、振幅190～400MV/mの交流電場を印加する工程。

【請求項2】

前記溶媒が、炭酸プロピレン、N,N-ジメチルホルムアミド、炭酸エチレン、-ブチロラクトンからなる群より選択される少なくとも1種を含む請求項1に記載の強誘電性キャストフィルムの製造方法。

【請求項3】

ポリフッ化ビニリデンからなる未延伸のキャストフィルムであって、60mC/m²以上の残留分極を有する強誘電性キャストフィルム。

【請求項4】

前記ポリフッ化ビニリデンの数平均重合度が1000～15000である請求項3に記載の強誘電性キャストフィルム。

【請求項5】

請求項 1 又は 2 に記載の方法により製造された請求項 3 又は 4 に記載の強誘電性キヤストフィルム。